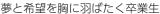
未来に向け第一歩 市内の小中学校で卒業式







三浦校長から卒業証書を受け取る山下樹理さん

事長)に引き継がれ、新たに「もりた保育園」としてスター

最後に大きな拍手で卒業生を送 さえる卒業生や保護者もいて、 こみ上げて来た思いで目頭を押 りを忘れず、自立できるよう努 木造中学校卒業という自覚と誇 り良い木造中学校をつくり上げ 在校生代表の佐藤瞭君が「先輩 を確立してください」と式辞。 助け合いながら素直で賢い自己 されました。三浦校長は「自分 力します」と答辞を述べました て学舎から飛び立って行きます。 万が築き上げた伝統を守り、よ に厳しく、相手に優しく、 業生161人に卒業証書が手渡 **学式が行われました。** つことで勇気に変え、胸を張っ 業生代表の杉森優一君が「一人 ていきます」と送辞を述べ、卒 人の不安は友と手を取り合 |徒数427人)では9日、 校歌を歌う場面では、 市内の小中学校などで



答辞を述べる杉森君

思い出いっぱいの園舎



の卒園式・修了式と民営化に伴っての移管式が行われました。 し、これまでに709人の卒園児たちが巣立ちました。 3 月 19 日、 式では成田所長が35人の卒園児一人一人に卒園証書を手渡 森田保育所は平成2年に床舞・中田保育所が統合して開設 市立森田保育所 (成田柳二所長)としては最後

出を呼び掛け形式で発表して、 園舎との別れを惜しみました。 お兄さんお姉さんが待っている小学校で勉強やスポーツにが んばってください」とあいさつ。園児みんなで園生活の思 平成23年4月からは、社会福祉法人・印光会(佐藤吉弥理 「森田保育所での思い出は素晴らしい宝。新しい先生や 卒園の歌、 修了の歌を合唱し



発見!遮光器土偶が息づく街

シャコちゃんを探せ!角巻探検隊



伝統の防寒具・角巻を身にまとい、遮光 器土偶が息づく木造地区の街中を散策する 「シャコちゃんを探せ!角巻探検隊inきづく り」が2月22日行われました。

このイベントは、東北新幹線全線開業後の 冬季観光モデルツアーとしてつがる縄文の会 (野呂隆昌理事長) らが実施したもので、市 内外から約20人が参加しました。

散策コースはJR木造駅を出発し、太宰治 が愛したポプラ並木、街の駅あるびょん、こ みせ商店街、縄文住居展示資料館カルコまで の約3キロ。参加者は散策しながら、凧揚げ 体験をしたり、マンホールのふたや看板など にシャコちゃんを見つけては携帯電話などで 撮影し、小さな旅を満喫しました。



縄文の歴史を 活かしたまちづくり

貴重な歴史遺産「亀ヶ岡遺 跡」。その魅力を高めようと「楽 しむ」「学ぶ」「交わる」イベント が行われ、多くの市民らが参加 しました。





世界遺産登録に向けて

JOMON亀ヶ岡文化フォーラム2011

3月6日、松の館で「JOMON亀ヶ岡文化フォー ラム2011」が開催され、多くの市民らが亀ヶ岡遺跡 について理解を深めました。

これは、亀ヶ岡遺跡の北海道・北東北を中心とし た縄文遺跡群の世界文化遺産登録を目指す機運を高 め、市民に関心を深めてもらおうとつがる縄文の会 が主催したものです。

第1部では、県文化財保護課職員から平成27年度 世界遺産登録に向けた取り組みや活動状況などにつ いての報告がありました。

第2部では、市教育委員会学芸員が、一昨年確認 された縄文晩期とみられる竪穴式住居跡などこれま での発掘調査の結果について説明。その後、東京大 学大学院・辻誠一郎教授が「ここまでわかった北の 縄文〜縄文人の農林業経営と集落生態系」と題して 講演。辻教授は「縄文人は野生にのみ依存していた のではなく、クリ林、トチ林を管理、栽培し、集落 を形成して生活していたのでは」と縄文人の多角的 な文化や生活様式についての見解を述べました。



歴史遺産の魅力発信を目指して

奥津軽歴史探訪推進フォーラム



東北新幹線全線開業を契機として、地域が一体と なって奥津軽の貴重な歴史遺産の魅力を全国に発信し ていくことを目指し、西北地域県民局主催の「奥津軽 歴史探訪推進フォーラム」が3月3日、松の館で開催さ れ、市内外から観光関係者や市民ら約200人が参加し ました。

フォーラムでは、弘前大学教育学部の斉藤利男教授、 市教育委員会の佐野忠史学芸員、円覚寺責任役員の海 浦由羽子さんが講演しました。このうち佐野学芸員は 「亀ヶ岡遺跡の出土品は江戸時代から国内外の人々に 知られていた」とし、江戸から明治時代にかけて亀ヶ 岡遺跡を訪れ記録を残した菅江真澄、松浦武四郎、蓑 虫山人の業績を紹介。さらに「今後、亀ヶ岡遺跡を歴 史探訪の観光につなげていくこともできる」と魅力を 強調しました。



केंब्रु !

詳しくは西北地域県民局発行「奥津 軽歴史探訪」冊子に掲載されていま す。(市役所などで無料配布)